

記者発表資料  
平成24年6月13日  
宮城大学地域連携センター(太白)  
TEL. 022-245-1263 (伊藤、三浦)  
022-245-1426 (北辻)

震災がれきと産業副産物のアロケーション最適化コンソーシアム  
～ 未利用資源有効利用の産学連携拠点の形成 ～  
設立総会へのご案内

本コンソーシアムは、被災地域や東北地方又は全国の大学の技術シーズを活用しつつ、産業界のニーズに応える技術開発を行う産学連携活動の基盤を整備し、被災地域や東北地方における新産業や雇用の創出を目指すことにより、被災地域の産学連携・共同研究の円滑化を図り、新たなイノベーションを促進し、復興及び経済成長を実現することを目的し、設立する運びとなりました。

会員は、「学」から東北大学大学院工学研究科および宮城大学、「産」から大手ゼネコンを中心とする建設業、鉄鋼スラグ、フライアッシュ、セメント、コンクリート製品、混和材、廃棄物処理等の関連社から構成され、これまでにない大きくかつ強靱な組織となります。

つきましては、以下のとおり設立総会を開催いたしますので、取材頂きますようお知らせします。

記

1. 日 時：2012年6月15日(金)

記者会見：14:30～14:50

設立総会：15:00～17:00

2. 場 所：ホテルモントレ仙台・3階・ルツェルナ

3. 設立総会次第：

○代表あいさつ 東北大学大学院工学研究科 教授・久田真

○ご来賓あいさつ

○参加者のご紹介

○コンソーシアムの概要説明

○話題提供

・「震災がれき等リサイクル材の復興資材としての活用」

宮城大学 教授・北辻政文

・幹事企業